

K446



令和7年度

北海道指定有形文化財

特別展

遺跡の



擦文文化



2025.9.5(金)～11.30(日)

K446遺跡は昭和53（1978）年に北区麻生町7丁目にある市営麻生球場の建設の際に発掘調査された遺跡です。遺跡からは7～13世紀に北海道を中心とする地域で営まれた擦文文化の遺物が出土し、本州との交流の状態を知るうえで貴重な資料であるとされ、昭和55（1980）年に「札幌市K446遺跡出土の遺物」として北海道指定有形文化財に指定されました。

この特別展では、指定された17点の遺物を市内の他遺跡から出土した遺物と一緒に展示するとともに、遺跡から発見された竪穴住居跡の特徴などをパネルで紹介します。

会場：埋蔵文化財展示室企画展コーナー（札幌市埋蔵文化財センター内）
（札幌市中央区南22条西13丁目）

期間：令和7（2025）年9月5日（金）～11月30日（日）

休館日：令和7（2025）年9月15日・23日、10月13日、11月23日・24日
開館時間：午前8時45分～午後5時15分まで

主催：札幌市埋蔵文化財センター

問合せ：011-512-5430（平日午前8時45分～午後5時15分）

SAPP
RO

入場
無料



04-D05-25-1807
R7-4-323